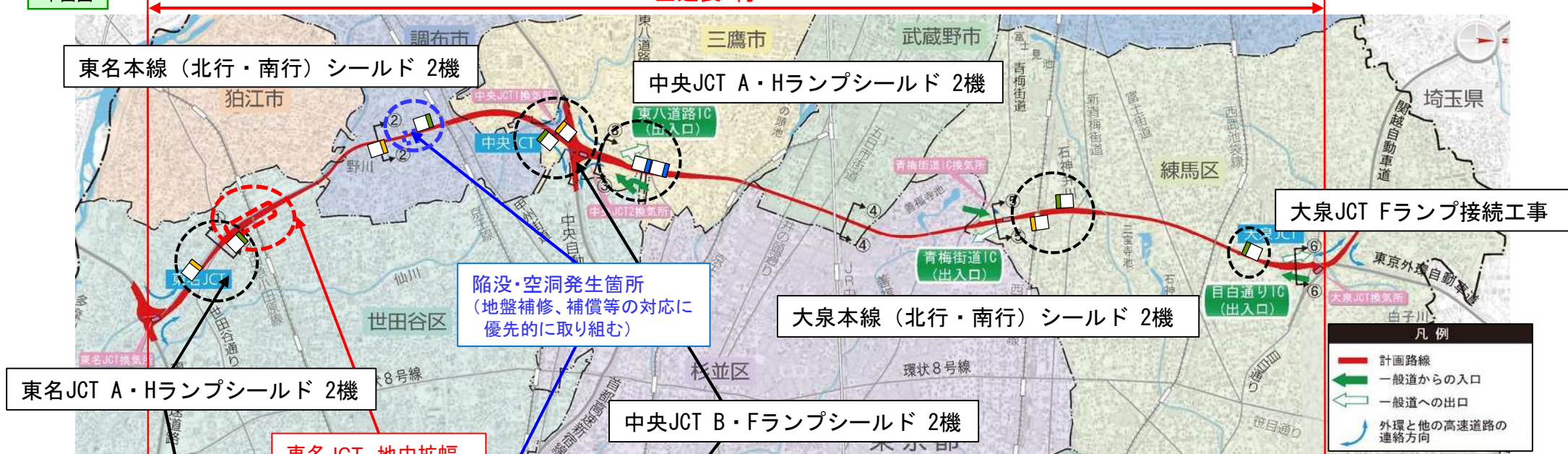


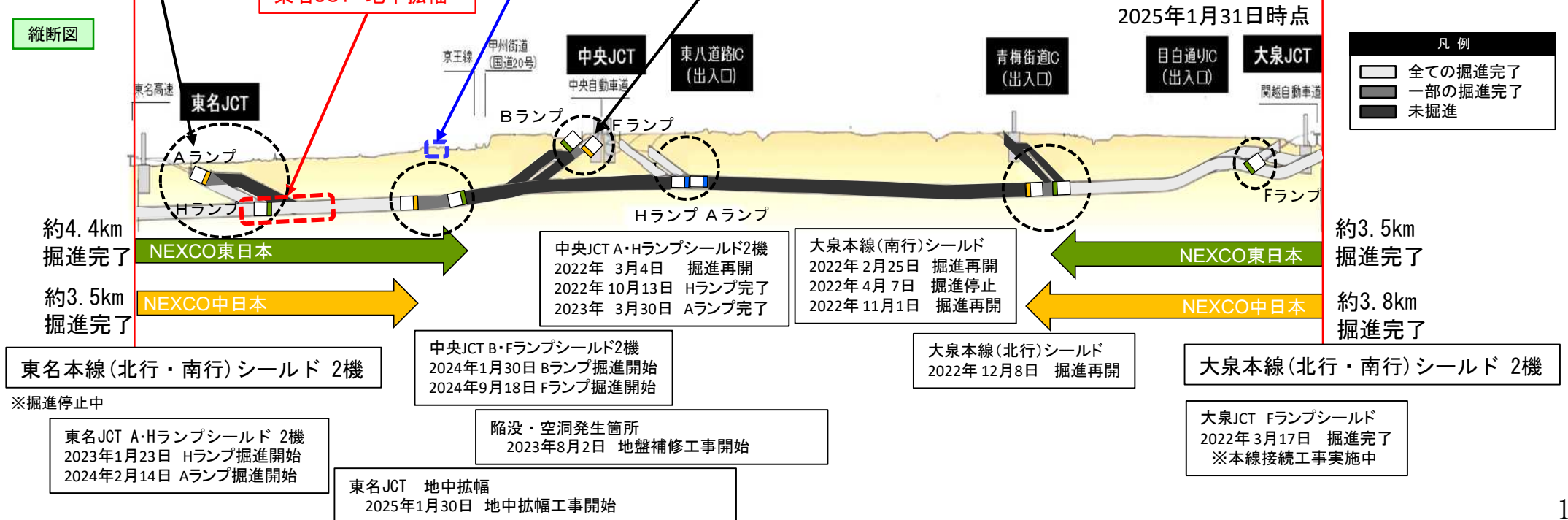
東京外かく環状道路(関越～東名) 現在の状況

平面図

全延長 約16km

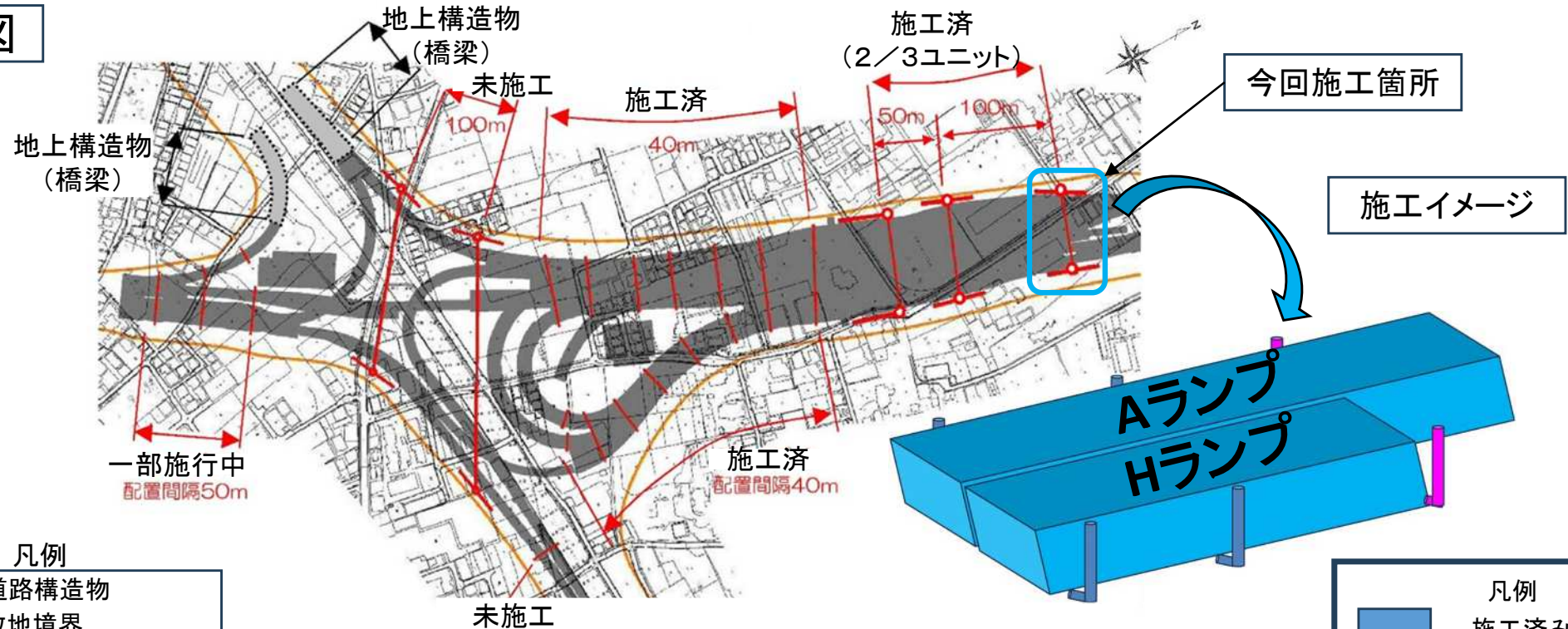


縦断面図



中央JCT 工事状況 中央ジャンクション北側改良工事

平面図



凡例

- 道路構造物
- 敷地境界
- 地下水流動保全工法

(第8回地下水検討委員会資料より抜粋、今回施工箇所等の追記)

中央JCTにおける地下水流同保全工法の配置計画図

凡例

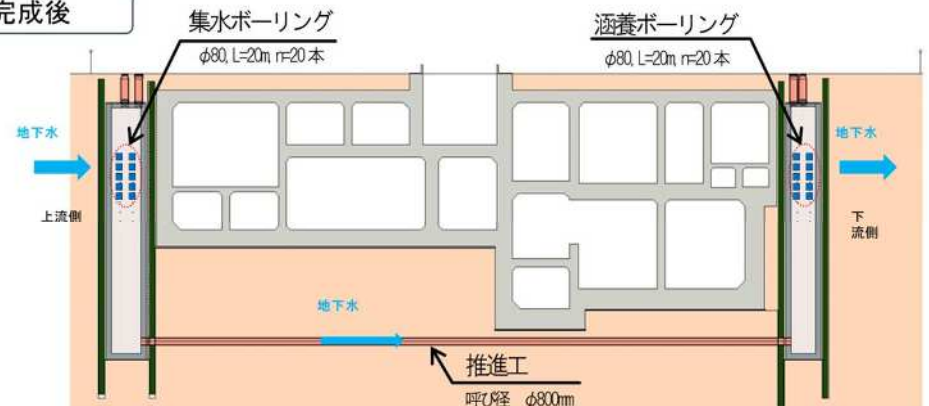
- 施工済み
- 今回施工

現在(仮通水)



(イメージ図)

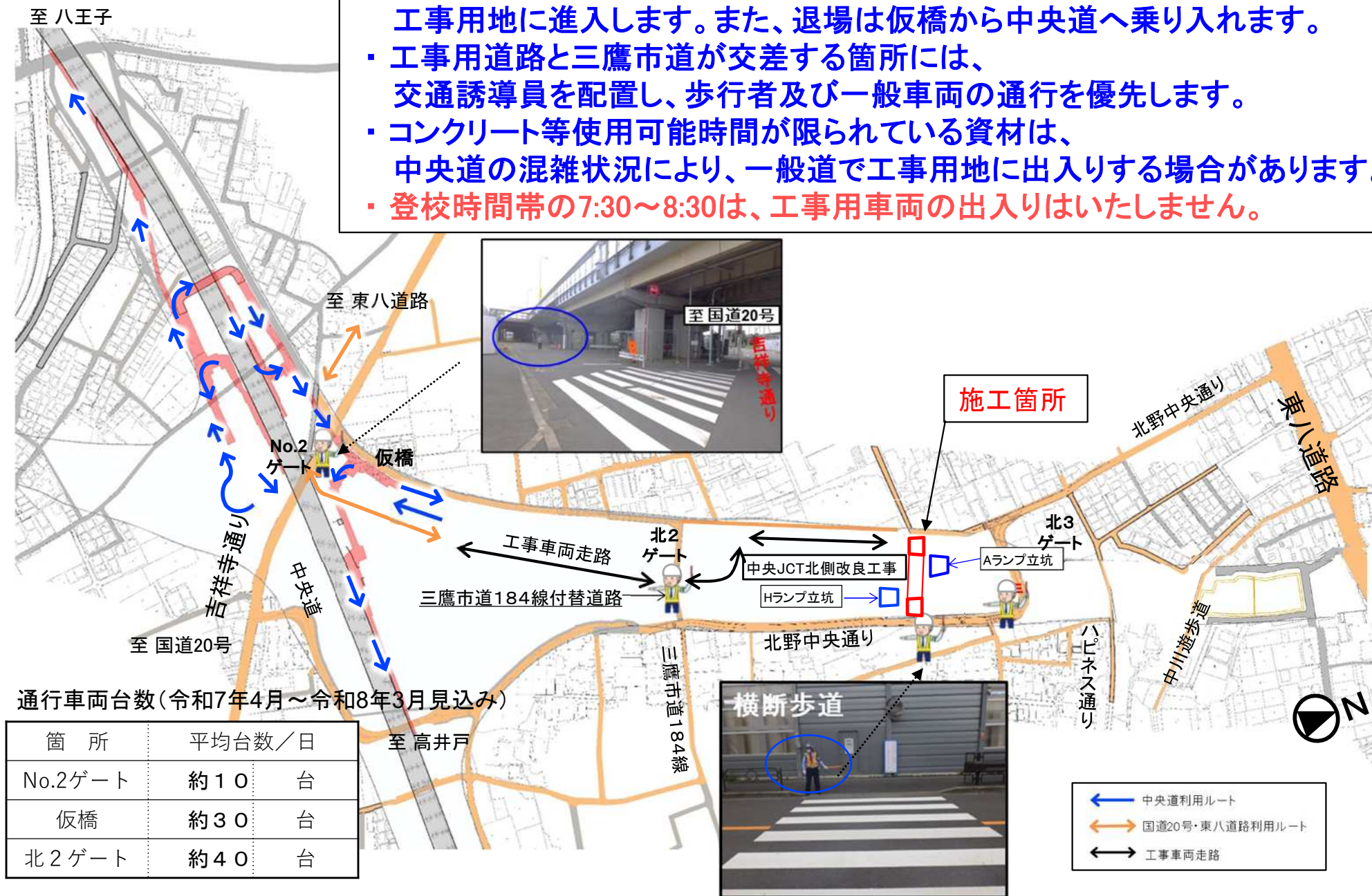
完成後



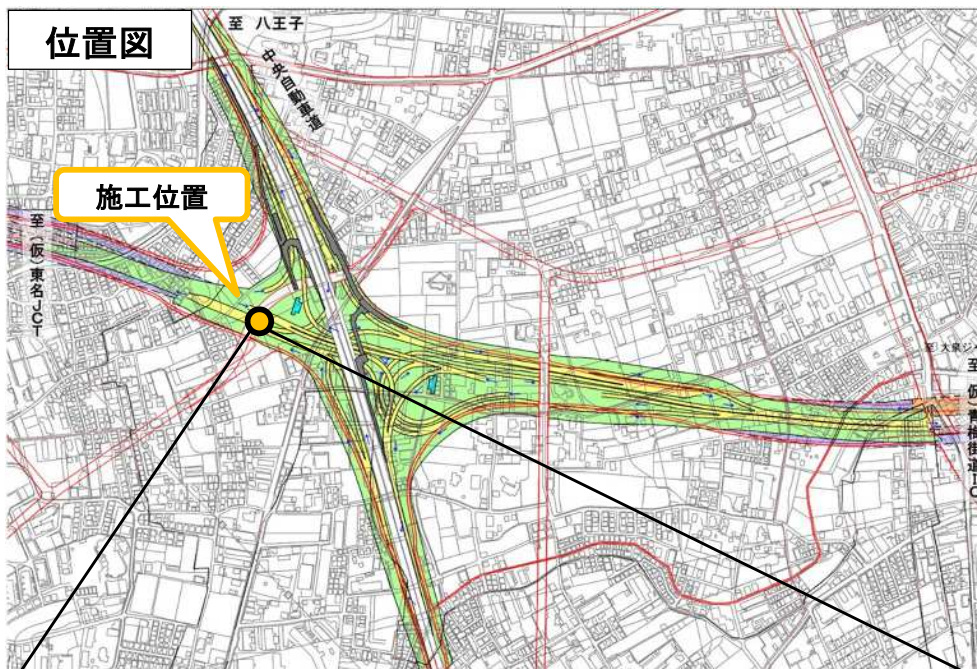
(イメージ図)

中央JCT北側改良工事に係る工事用車両のルート

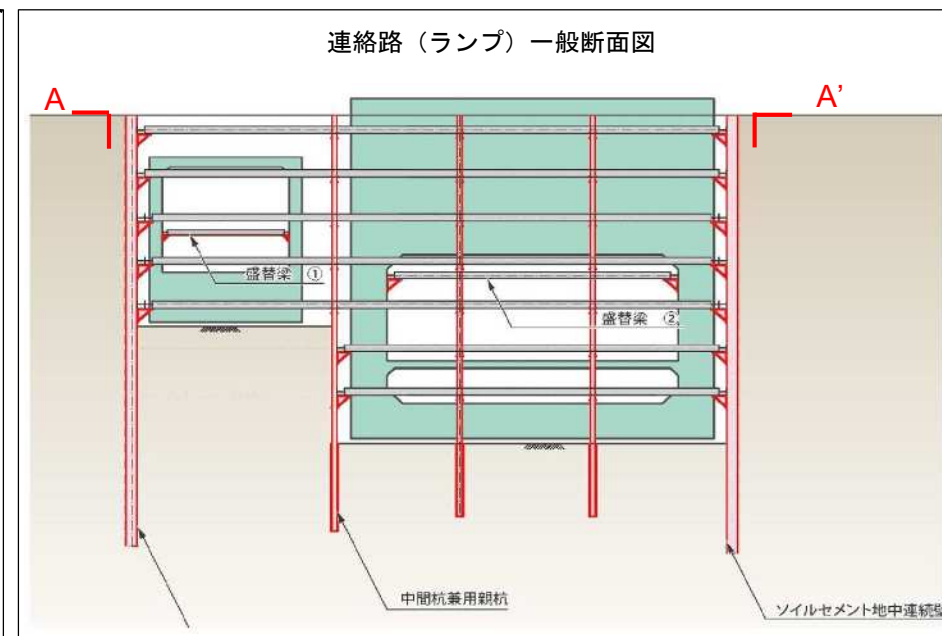
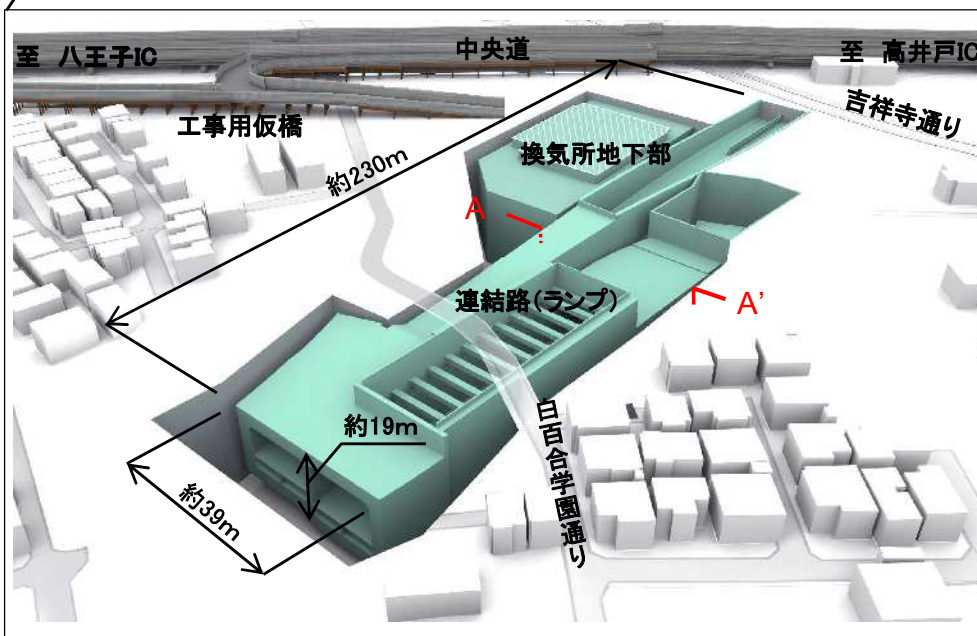
- ・ 原則入場用大型工事用車両は、中央道から仮橋を経由し、工事用地に進入します。また、退場は仮橋から中央道へ乗り入れます。
- ・ 工事用道路と三鷹市道が交差する箇所には、交通誘導員を配置し、歩行者及び一般車両の通行を優先します。
- ・ コンクリート等使用可能時間が限られている資材は、中央道の混雑状況により、一般道で工事用地に出入りする場合があります。
- ・ 登校時間帯の7:30～8:30は、工事用車両の出入りはいたしません。



中央JCT部の工事【ランプボックス、地下構造物】

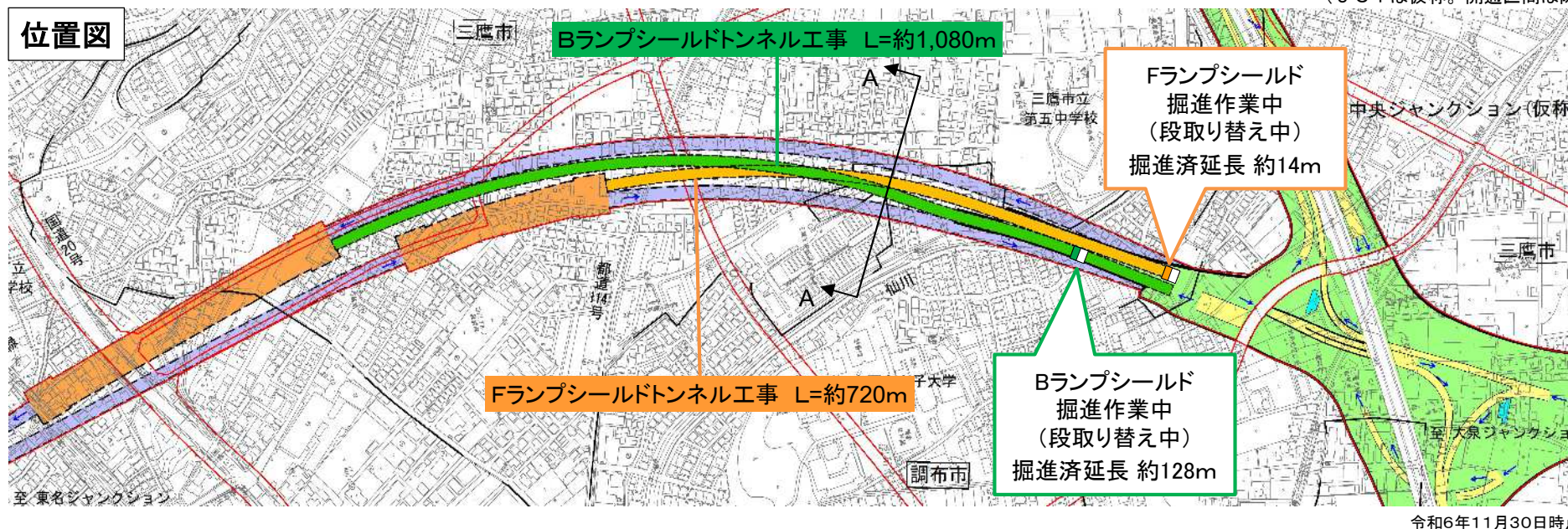


中央JCT部	
工事名称	東京外かく環状道路 中央ジャンクション南工事
発注者	中日本高速道路(株) 東京支社
施工者	西松建設(株) 関東土木支社
工事内容	・開削によるランプボックスの構築(開削工) ・維持管理用の電気室の構築(地下構造物工) ・地下水流動保全工

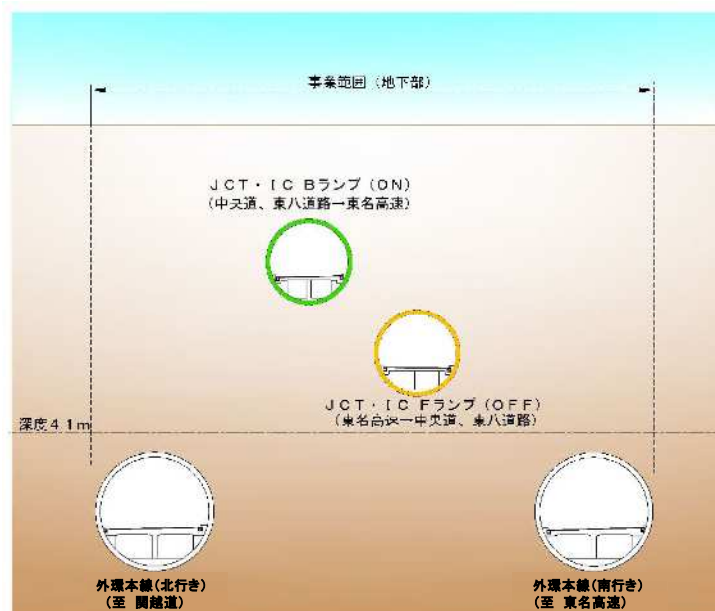


中央JCT B・Fランプシールドトンネル工事の概要

(JCTは仮称。開通区間は除く)



断面図(A-A)



B ランプシールドトンネル	
工事名称	東京外かく環状道路 中央ジャンクション南側 B ランプシールドトンネル工事
発注者	東日本高速道路(株) 関東支社
施工者	大林組・フジタ・岩田地崎建設 特定建設工事共同企業体
工事内容	・泥土圧シールド シールド機外径φ約 12m、セグメント外径φ 11.5m ・延長約 1,080m
ランプシールド区間	東京都三鷹市北野～中原

F ランプシールドトンネル	
工事名称	東京外かく環状道路 中央ジャンクション南側 F ランプシールドトンネル工事
発注者	中日本高速道路(株) 東京支社
施工者	大林組・大本組・銭高組 特定建設工事共同企業体
工事内容	・泥土圧シールド シールド機外径φ約 12m、セグメント外径φ 11.5m ・延長約 720m
ランプシールド区間	東京都三鷹市中原～北野

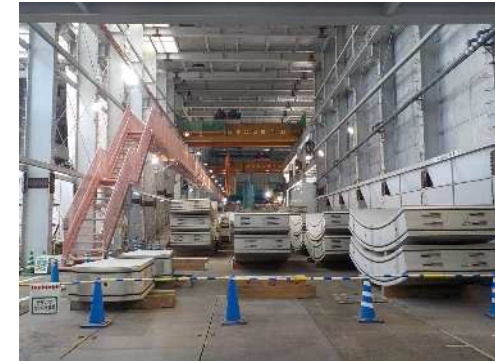
現場写真【中央JCT Bランプシールドトンネル工事】



シールドマシンの組立状況
(平成30年12月11日)



シールドマシン発進前の状況
(令和5年1月20日)



セグメントストックヤードの状況
(令和6年10月31日)



シールドマシン後方の状況
(令和6年11月25日)



発進立坑部の状況
(令和6年11月25日)



防音ハウス内の状況
(令和6年11月29日)



ベルトコンベアの状況
(令和6年11月29日)



土砂ピットヤードの状況
(令和6年11月29日)

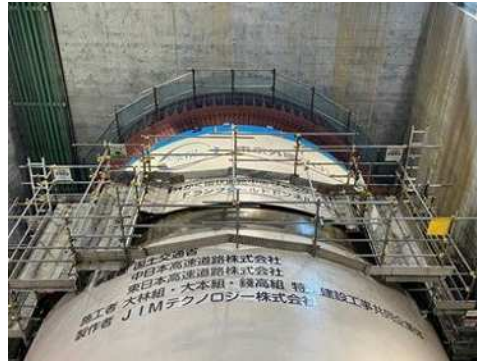


土砂ピットヤード内部の状況
(令和6年11月29日)

現場写真【中央JCT Fランプシールドトンネル工事】



シールドマシンの組立状況
(平成30年12月19日)



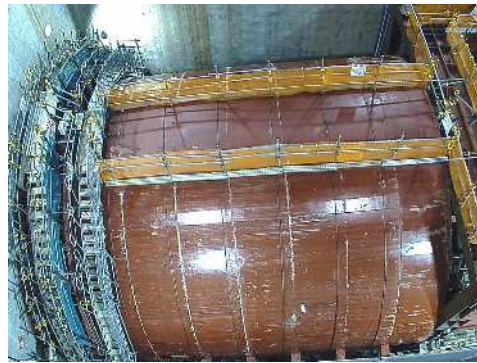
シールドマシン発進前の状況
(令和5年1月20日)



セグメントストックヤードの状況
(令和6年10月31日)



シールドマシン後方の状況
(令和6年11月20日)



発進立坑部の状況
(令和6年11月20日)



防音ハウス内の状況
(令和6年11月29日)



ベルトコンベアの状況
(令和6年11月29日)



土砂ピットヤードの状況
(令和6年11月29日)

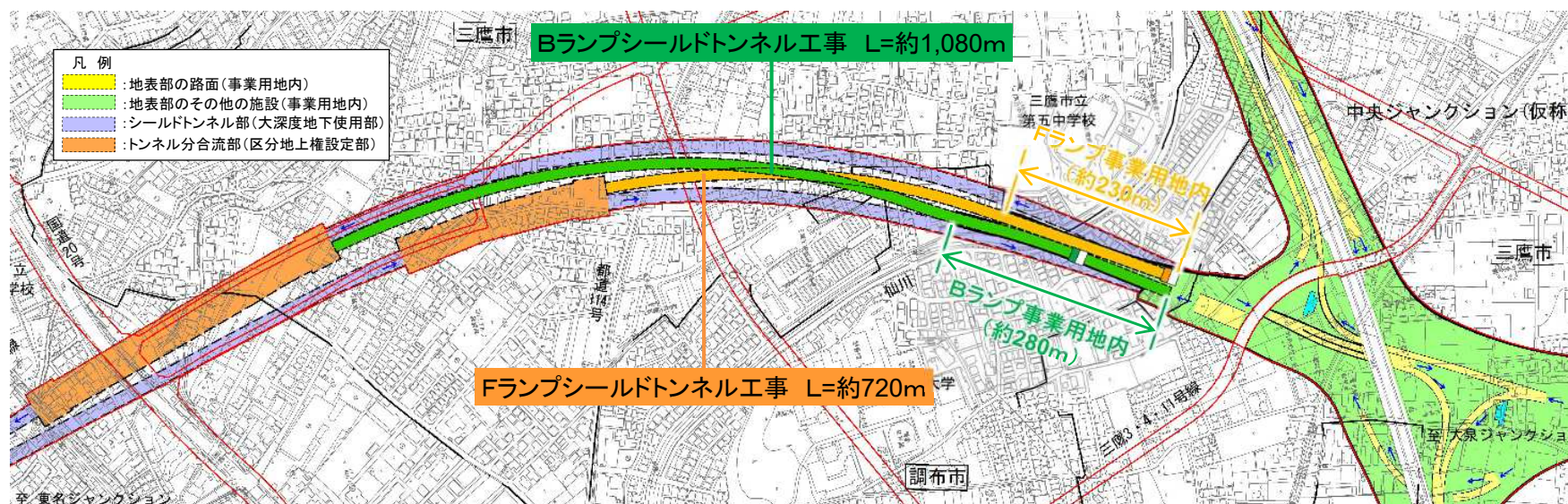


土砂ピットヤード内部の状況
(令和6年11月29日)

今後の掘進について

- 第26回(令和4年12月1日)東京外環トンネル施工等検討委員会において、中央JCT B・Fランプシールドトンネル工事の「再発防止対策及び地域の安全・安心を高める取り組み」について、妥当性を確認しております。
- 第30回(令和6年9月)及び第31回(令和6年11月)の東京外環トンネル施工等検討委員会において、中央JCT Bランプシールドトンネル工事の再発防止対策等が有効に機能していることを確認しております。
- 中央JCT Bランプシールドトンネル工事については、引き続き事業用地内の掘進作業を慎重に進めてまいります。
- 中央JCT Fランプシールドトンネル工事は、令和6年9月18日から事業用地内の掘進作業を開始しました。今後も掘進作業にあたっては、再発防止対策を踏まえ、施工状況や周辺環境をモニタリングしながら細心の注意を払いつつ、慎重に進めてまいります。
- 事業用地外の掘進作業を行う際には、あらためて周辺地域の皆さまに対し、ご説明の場を設けさせていただきます。

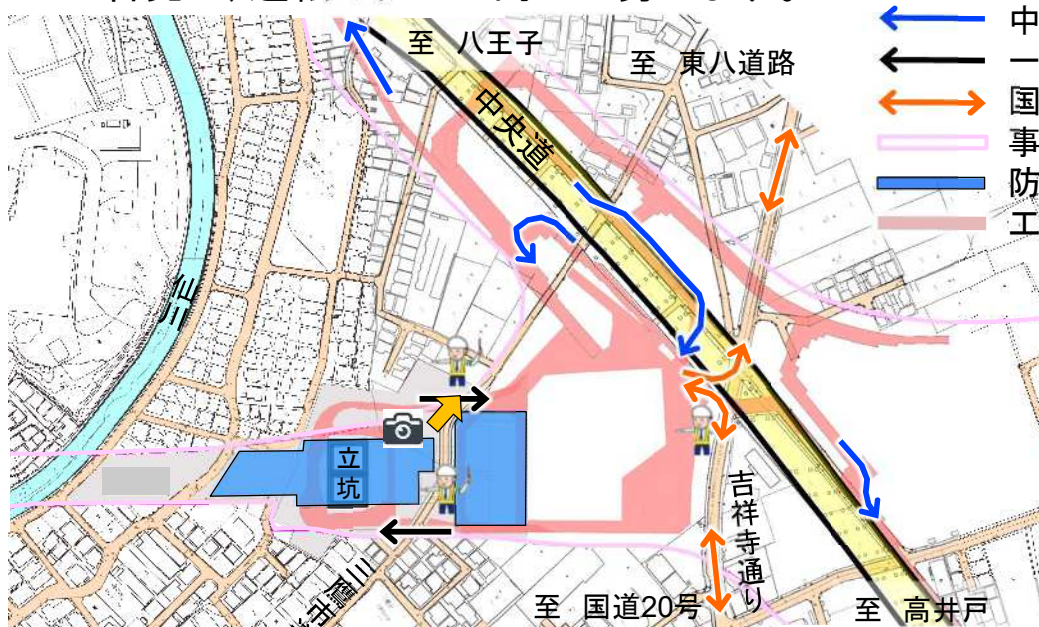
東名JCT Hランプの掘進実績(事業用地内:134m) 約8ヶ月



令和6年11月30日時点

工事用車両の運行について

- 原則、ランプトンネル工事の工事用車両(大型車及び特大車)は、中央道に直接出入りする仮橋を経由して出入りします。
- コンクリート等使用可能時間が限られている材料は、中央道の混雑状況により、一般道を経由して吉祥寺通りから出入りする場合があります。
- 一般道の出入り口には、交通誘導員を配置し、工事用車両の出入り時の安全を確保します。
- 児童の通学時間帯にあたる7:30~8:30は、一般道を使用した車両出入りは行いません。
- 工事用車両には車両管理番号、工事名等を記載した工事用プレートを表示します。
- 工事関係者全員に新規入場時の教育を実施の上、定期的に行っている安全大会等の場で安全運転について啓発し、運転マナーの向上に努めます。



交通誘導員
(三鷹市道101号出入口)

工事用プレートの表示

